

音喜多しゅん おときた駿



経歴

1983年9月21日生の29歳 おとめ座 O型
北区王子本町にて水道工事店の長男として生まれ、
姉と妹とともに元気に成長する

いなり幼稚園卒 北区立王子第二小学校卒
私立海城中学校・高等学校卒
早稲田大学政治経済学部政治学科卒

LVMHモエヘネシー・ルイヴィトンに入社
化粧品ブランド「ゲラン」で営業・マーケティングを経て
現在、みんなの党東京都議会第6支部(北区)支部長
I LOVE 北区♥Project & きたパンプロデューサー

趣味・趣向

マラソン 東京マラソン2008出場(タイム:4時間5分17秒)
2012年館山トライアスロン大会完走

中国拳法 学生時代に、武術団体「早稲田カンフー」第23代主将を務める

ダンス 社会人になりストリートダンスに目覚める。ニコニコ動画に
ダンス動画を投稿し、「第2回ニコニコダンスマスター」出場

旅行 全国47都道府県、バックパッカーで15カ国制覇

読書 年間100冊読破を7年間継続中

ブログ 学生時代から個人ブログを8年継続
累計100万PV達成!

尊敬する人 ジャッキー・チェン

悩み 童顔なこと



復興支援

東北復興支援NPOふらいパンダ副代表

東日本大震災を機に、自分でも何かができないかと思いNPOを
立ち上げる。「子どもたちに笑顔を!カステラを届けるプロジェクト」



を合言葉に被災地(石巻・気仙沼・釜
石等)にて、がれきの撤去作業等の重
労働と並行し、大きなフライパンでカ
ステラを焼くイベントを約50回開催。
現在も精力的に活動中!

事務所

東京都北区上十条 2-25-14 (5月~6月末まで)

Tel/Fax 03-3908-3121

mail@otokitashun.com

http://otokitashun.com

ボランティアスタッフ募集中!



ごあいさつ

今回の政策レポート第三弾では、これから急激な人口減少、
高齢化に見舞われる東京への「処方せん」となる政策を提示
します。限られた人材で社会を支える、新しい仕組み作りが
今こそ必要です。

「誰かがなんとかすればいい」
「政治家なんて、誰がやっても一緒だろう」
そういつて諦めるのは、終わりにしませんか?

ここ東京都なら、皆さまの一票で政治は必ず変わります。
一票では何も変わらないのではなく、
一票でしか変えられないのです。
組織票に支えられた古い政治家ではなく、
自分たちの代表者を選ぶのは、今です。

東京から変えていく。変えられる理由がある。

音喜多駿

北区での活動報告

4/20(土)街頭演説会&地域へのご挨拶

JR十条駅前にて、代表渡辺喜美と共に街
頭演説会を行いました。その後、十条銀座
商店街にてご挨拶をさせていただきました。



4/26(金)地域の方々とのミニ集会

地元 北区王子本町の方々をお呼びしてミ
ニ集会を行い、地域についての勉強や、
課題についての話し合いをしました。

5/11(土)タウンミーティング in 北区

タリーズコーヒージャパン創業者、参議
院議員松田公太とともに、北とぴあにて
タウンミーティングを開催いたしました。



代表
渡辺喜美



幹事長
江田憲司



参議院議員
松田公太

おときた駿は、
みんなの党
東京都議会議員選挙の
公認内定者です。



おときた駿しゅん 北区出身 29歳の挑戦

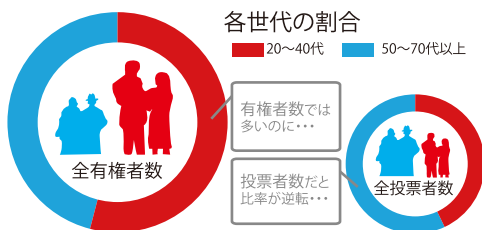


その一票で、変わります。

選挙に行って、東京を変えよう。

今この国では、いわゆる地盤(組織)・看板(知名度)・カバン(お金)がないと、選挙に出ても当選することは極めて難しい状況です。その結果、政治の世界は世襲議員やタレント議員、特定の利権団体から応援を受けたしがらみだらけの議員ばかりになってしまいました。

この最大の要因は、投票率の低さです。皆さまが政治に関心になって、投票率が下がるほど、「地盤・看板・カバン」を持ち、必ず投票に行く「組織票」に支えられた古い政治家たちが有利になります。



投票に行かない若い世代が非常に多いこの東京こそ、実は大きな変革の可能性を秘めています。皆さまが今まで以上に政治に参加し、投票することで、必ず新しい政治家を議会に送り出すことができます。

新しい政治家を選ぶのは、われわれ有権者一人ひとりなのです。

日本は子育て貧困国
子育て支援政策をフランス流へ



人口維持に必要な合計特殊出生率は2.1程度と言われていますが、現在の東京は1.06と日本最低を記録しています。認可保育所による集団保育だけでなく、フランスのように多様性あふれる保育形態が必要です。まずは「保育バウチャー」の導入で、待機児童問題を解決します。

おときた駿の4つの政策

都内にもある教育格差
教育水準の底上げで競争できる環境へ



近年、都市と地方の格差が問題視されていますが、都内における格差もますます深刻化しています。その代表的なものが教育格差です。広く地域からの協力を募り、「校内塾」「コミュニティ・スクール」等の導入で公教育への信頼を回復します。

定年=リタイアはもう古い
世代の垣根を超えて協働する街へ



北区は高齢化率が都内で最も高い地域ではありますが、シニア世代の経験や知識は貴重なものです。杉並区の「地域本部」などの取り組みを参考に、現在社会参画の機会が限られている元気なシニア世代の皆さまに教育、保育、地域活動への参加の門戸を開きます。

民間の力を活かせ
スリムな行政でスマートな社会へ



旧道路公団が民営化されて、高速道路のサービスエリアなどの質が向上したことは誰の目にも明らかです。東京都でも地下鉄や都営バス、水道事業に民間の視点を導入することで、さらなる競争力とサービスレベルの向上を図ります。